

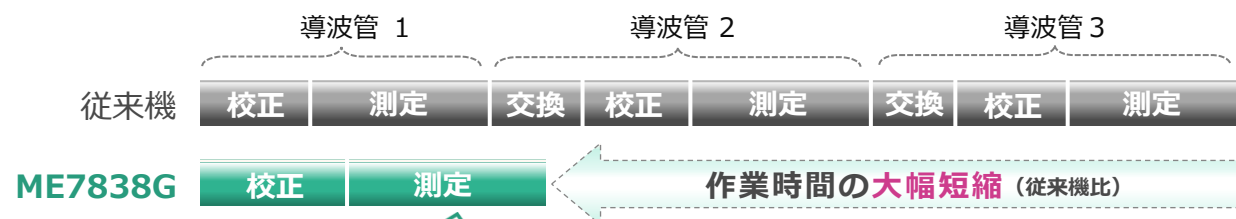
高周波化する Beyond5G / 6Gデバイスの Sパラメータを**超広帯域・シングル掃引**で評価

VectorStar™ ベクトルネットワークアナライザ ME7838G / G4
220 GHzモジュール MA25400A
周波数範囲 : **70 kHz ~ 220 GHz**

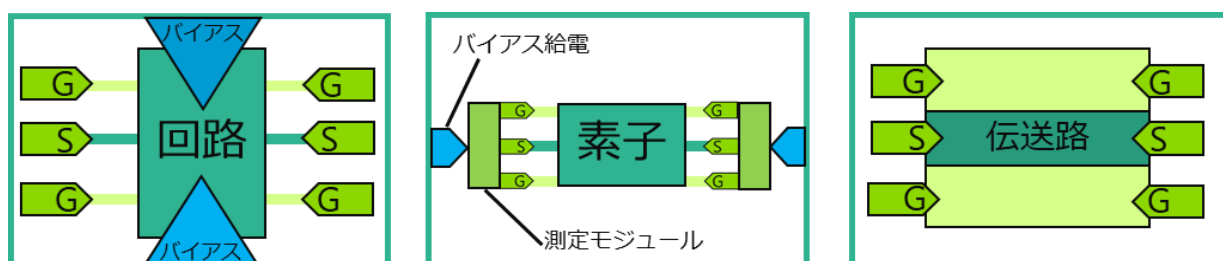
測定モジュール交換と再校正はもう不要です

- **70 kHz ~ 220 GHzの超広帯域シングル掃引**を実現。
測定モジュールの交換は必要なくなりました
- モジュール交換 / 再校正で生じていた**作業時間の大幅短縮**やコネクタ**破損リスク**を低減できます
- 異なる周波数モジュール / 校正キットのなどの導入コストを抑え、**投資対効果**に貢献します

※ 測定にかかる作業量の比較イメージ



NLTL*技術のMMIC化で、ミリ波モジュールを小型化。省スペースで
220 GHzプロービング試験が可能です * NLTL : Nonlinear Transmission Line (非線形伝送線路)



デバイス測定の様式図 (プローブのピッチ間隔: 50/75/100 μm)

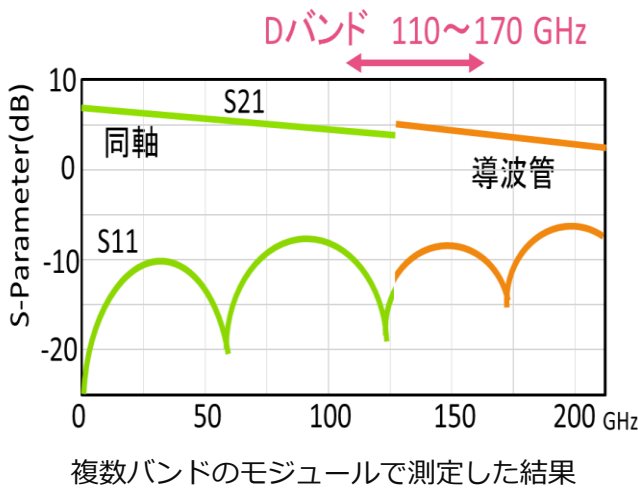
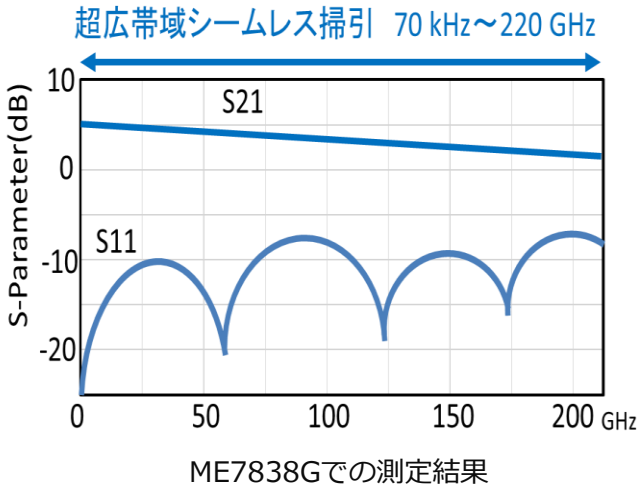
➤ 測定モジュール小型化のメリット

- ・温度変化の影響を受けにくいため**高い安定性**を示す
- ・バイアス電源を配置しやすい
- ・顕微鏡に干渉しにくい
- ・伝送路を短くできるため**誤差要因が減る**

Beyond5G/6Gで注目を集める周波数帯域のシームレス化

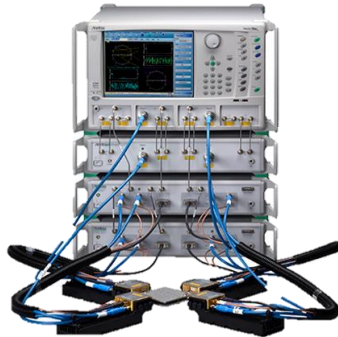
- バンド間で発生するデータの不連続性（段差）で困っていませんか
- NLTL技術によりDバンドの切替で発生する段差を無くしシームレス化を実現。
広帯域での高ダイナミックレンジと測定精度により信頼性が格段にアップします

※ ダイナミックレンジ：100 dB（@125-140 GHz, IF帯域幅10 Hz, 平均化なし, 代表値）
最大出力時の温度安定性：0.025 dB/℃, 0.3deg./℃（@125-140 GHz, IF帯域幅100 MHz, 23±3℃, 代表値）

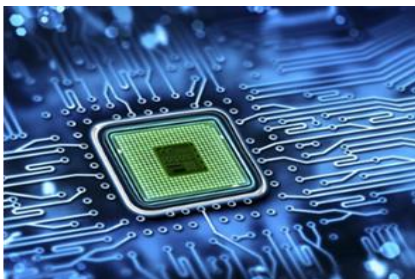
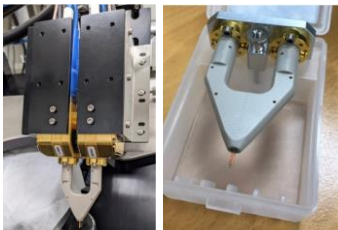


一歩先をいく220 GHz 差動デバイスの試験を強力にサポート

- 新しく220 GHz差動プロービングシステムをMPI社と共同開発。
最先端の試験環境を是非お試し下さい
- 4ポートGSGSG 差動システムを小型のミリ波モジュールで構築。
プローバステーションへの負荷を軽減します
- Beyond5G/6Gを支える次世代光通信の100 Gbaud 超
光電デバイスの超広帯域 Sパラメータ評価に貢献します



4-Port 測定システム



220 GHz差動プローブ

(International Microwave Symposium @2022 出展)

本資料は、記載内容をおことわりなしに一部変更する場合があります。
また、各測定画面例の数値結果等は保証される値ではありません。規格値はカタログ/データシートをご覧ください。

アンリツ株式会社 <https://www.anritsu.com>

通信計測営業本部 営業推進部
TEL: 0120-133-099 / FAX: 046-296-1248
E-mail: SJPost@zy.anritsu.co.jp

弊社提供の資料類は、第三者への移転、輸出及び国外持出しの際には、「外国為替法及び外国貿易法」により日本政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また、米国の「輸出管理規則」により、米政府の再輸出許可を必要とする場合があります。法令に定められた要件に従って取り扱いいただきますようお願いいたします。